

# 公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年9月8日

施設名	青少年体育館	所管課室	生涯学習課
-----	--------	------	-------

## 1施設の概要

指定管理者名	(財)高知県青年会館
指定期間	平成18年4月1日～21年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の利用の許可に関すること</li> <li>・施設及び設備の維持管理に関すること</li> <li>・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関すること</li> <li>・主催事業を計画し、実施すること</li> </ul> <p>&lt;平成20年度主催事業&gt;                      体力づくり教室                      (スカッシュバレー)月・水曜日 (卓球)月曜日                      (バレーボール)火・水曜日 (バドミントン)木・金・土曜日                      小学生スポーツ教室                      (卓球・新体操・バレーボール・バドミントン・バスケットボール)                      青少年フェスティバル                      初心者卓球教室                      初心者バドミントン教室                      第11回小学生ドッジボール秋季大会                      小学生男子バレーボール教室</p>
施設内容	青少年の健全育成並びに県民の健康増進及び体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。 利用開始日:平成3年12月1日 建築物:鉄筋コンクリート一部2階 施設概要: 1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面 トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階閲覧席 1500席
職員体制	館長1名(高知青少年の家所長兼務) 館長補佐1名(高知青少年の家事務長兼務) 事務員1名 指導員3名 <p style="text-align: right;">計6名</p>

## 2収支の状況

		19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(予算)
収入	県支出金	36,769,101	36,456,676	37,002,000
	事業費収入	0	0	0
	使用料	4,507,810	3,900,660	4,638,000
	収入計(a)	41,276,911	40,357,336	41,640,000
支出	事業費	452,000	447,960	430,000
	管理運営費	15,942,506	15,580,637	15,819,000
	人件費	18,588,197	18,657,297	18,990,000
	消費税	1,786,398	1,770,782	1,763,000
	支出計(b)	36,769,101	36,456,676	37,002,000

### 3 利用実績

#### (1) 利用団体数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均
団体数	1,436	1,484	1,744	1,696	1,565	1,500	1,571

#### (2) 利用者数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均
人数	66,471	67,707	68,165	64,565	63,745	70,970	66,937

### 4 業務の評価

項目	状況説明
① 利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小学生スポーツ教室は、バドミントン、卓球、新体操、バレーボール、バスケットボールの5種目を開催し、延べ2,427人の小学生が参加した。この事業は平成4年から17年間継続して開催しており、高知市、土佐市、いの町からの参加があった。</li> <li>○県民の健康・体力の維持向上と生涯スポーツのきっかけづくりのため、平成17年度より初心者スポーツ教室を開催し、体育館の指導員が指導を行っている。参加者が自主的に作ったクラブが、昨年度に引き続き平日の昼間に利用している。</li> <li>○青少年フェスティバルにおいては、地域と話し合いの場を持ち、昨年度の反省を基に内容を決定した。</li> </ul>
② 利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者から希望のあった専用バーベル棒をトレーニング室に設置した。</li> <li>○当日の申し込みにも柔軟に対応するなど、常に利用者の立場に立ってサービスに努めた。</li> <li>○昨年に引き続き、主催事業の初心者卓球・バドミントン教室の修了者が立ち上げた自主クラブの練習に、要請があれば職員が指導を行い、利用者のサービス向上に努めた。</li> </ul> <p>(昨年度の課題への対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「緊急時対応マニュアル」を作成し、職員に周知した。</li> </ul>
③ 施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青少年センターの協力を得て、平成20年8月よりトレーニング室の利用については、マナーや器具の使い方などの講習を修了した方に限っている。その結果、利用者数は減少したが、マナーが良くなり安全性が保たれている。</li> <li>○昨年度も課題となっていた職員の資質・指導力向上のための研修への参加については、本年度もローテーションの関係で参加することができなかった。</li> </ul> <p>平成21年度は、早めに研修の情報収集を行い、参加できるようにローテーションを組んでいく予定である。</p>
④ 利用実績	<p>○平成19年度と比較して、利用団体数は65団体減少したが、利用者数は7,225人に増加した。利用者講習終了者のみの利用としたことから、トレーニング室の利用は減少したものの、平成19年度と比較して、バドミントンやバスケットボール大会が増えたことや高校総体(バドミントン)の開催等により、年間利用者数が大幅に増加した。</p>

⑤収支の状況	<p>○平成19年度と比較して、使用料収入は607千円の減収となった。これは、利用団体数が減少したことが大きな理由と考えられる。 また、管理代行料については、当初予算額のほぼ全額の支出となった。</p> <p>平成20年度予算額 36,460,000円 残額 3,324円</p>
総合評価	<p>B</p> <p>概ね事業計画のとおり管理運営されている。トレーニング室を利用者講習修了者のみの利用としたことで、マナーが向上し器具の故障が少なく、安全性が保たれることに繋がった。</p> <p>昨年度の課題であった、「緊急時対応マニュアル」は作成をした。しかし、電気料金の目標設定については、利用状況により電気料金の変動するため、具体的な数値設定が困難なことから目標設定は行っていないが、使用していない部分の消灯を行う等、経費節減に努めている。また、職員の資質・指導力向上のための研修への参加については、本年度もローテーションの関係で参加することができなかった。しかし、職員同士の声掛けや助け合いにより、利用者サービスの向上に努めている。</p> <p>今後、さらなる向上を目指して、以下のことに取り組んでもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者動向の把握・分析</li> <li>・高知青少年の家が隣接しているという特色を生かして、両施設を一体的に利活用するための施設運営</li> <li>・計画的な職員研修</li> </ul>

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B: おおむね仕様書の内容とおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの